

# 第2章 20年のあゆみ



# 20年のあゆみ

## 2003年 [平成15年]

- 2月1日 「JAきたみらい」発足式・本所開所式
- 2月24日 JAきたみらい青年部連絡協議会設立総会  
JAきたみらいフレッシュミズ連絡協議会設立総会
- 2月27日 JAきたみらい女性部連絡協議会設立総会
- 3月17日 日本の食を守るオール北海道大会
- 3月25日 JAきたみらい営農技術協議会設立総会
- 6月1日 JAきたみらいホームページ開設
- 7月10日 夏期地区別懇談会(10~17日まで)
- 7月12日 JAきたみらい合併記念酪農祭・乳牛共進会
- 7月18日 総代選挙509人選出
- 8月13日 きたみらい酪農ヘルパー連絡協議会設立総会
- 8月26日 全国たまねぎサミット  
IN KITAMI2003(26~27日)
- 11月25日 第24回JA北海道大会



本所事務所 開所式&発足式 (2003年2月1日)



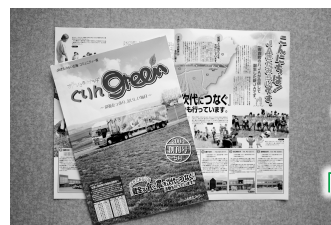
「日本の食を守るオール北海道大会」参加  
(2003年3月17日)

## 2004年 [平成16年]

- 2月12日 JAきたみらいフレッシュミズ設立総会
- 2月19日 JAきたみらい青年部設立総会
- 3月3日 JAきたみらい女性部設立総会
- 3月7日 「おひさまサラダ」第30回全道JA広報誌  
コンクール最優秀賞受賞
- 3月18日 冬期地区別懇談会(18~24日まで)
- 4月2日 きたみらい和牛生産組織協議会設立総会
- 4月16日 きたみらい馬産振興会設立総会
- 4月21日 第1回JAきたみらい通常総代会  
(新役員就任)
- 5月1日 地域住民向けコミュニティー紙  
「ぐりんGreen」創刊号発刊
- 6月16日 きたみらいジュニアホルスタインクラブ設立総会
- 7月9日 新規就農者激励状授与式・激励会(29人就農)
- 7月17日 第2回JAきたみらい乳牛共進会
- 7月17日 夏期地区別懇談会(17~22日まで)
- 10月2日 きたみらい豆類乾燥調製施設竣工式
- 10月5日 北見地区農産物検査センター竣工式
- 12月22日 第1回臨時総代会



新規就農者29人に激励状授与 (2004年7月9日)



"地域コミュニティー誌  
おひさまサラダ  
「ぐりんGreen」創刊"  
(2004年5月1日)



東京・銀座で  
きたみらい産農産物をPR



2005年 [平成17年]

- 2月14日 冬期地区別懇談会 (14~17日まで)
- 4月20日 第2回JAきたみらい通常総代会
- 7月1日 新規就農者激励授与式・激励会 (26人就農)
- 7月16日 第3回JAきたみらい乳牛共進会
- 7月19日 夏期地区別懇談会 (19~22日まで)
- 10月3日 新土壌改良工法試験施工 (北見市柏木)
- 11月3日 全日本ホルスタイン共進会、出陳3頭上位入賞 (3~6日まで)

2006年 [平成18年]

- 2月14日 冬期地区別懇談会 (14~17日まで)
- 2月29日 品目横断的施策緊急対応プロジェクトチーム設置
- 3月5日 北見市、端野町、常呂町、留辺蘂町の1市3町が合併し、新「北見市」誕生
- 4月18日 第3回JAきたみらい通常総代会
- 4月20日 ふるさと銀河線廃線
- 6月27日 新規就農者激励状授与式・激励会 (31人就農)
- 7月1日 小麦乾燥調製貯蔵施設工事安全祈願祭
- 7月15日 第4回JAきたみらい乳牛共進会
- 7月18日 夏期地区別懇談会 (18~21日まで)
- 8月26日 合併3周年記念「じゃが・たまフォーラム」
- 8月27日 合併3周年記念「ふれあい農業祭」
- 11月21日 第25回JA北海道大会
- 12月2日 役員海外視察研修 (2~9日まで)

2007年 [平成19年]

- 2月12日 冬期地区別懇談会 (12~16日まで)
- 3月3日 JAきたみらい小麦乾燥調製貯蔵施設修祓式・落成祝賀会
- 4月12日 第4回JAきたみらい通常総代会
- 4月13日 第2代代表理事組合長に加藤孝幸氏を選任
- 6月5日 玉葱貯蔵庫地鎮祭
- 6月26日 新規就農者激励状授与式・激励会 (34人就農)
- 7月14日 第5回JAきたみらい乳牛共進会
- 7月17日 夏期地区別懇談会 (17~20日まで)
- 8月13日 役員作況調査
- 10月27日 第1回農業体験&見て歩きツアー
- 11月1日 販売事業200億円サミット
- 11月10日 コンプライアンス役職員研修会
- 12月5日 第1回JAみらいサミット
- H20.1月26日 オホーツク酪農畜産危機突破総決起集会 (北見支所大会議室)



初の「秋の大収穫祭」で農産物PR (2005年10月2日)



8.18大雨被害状況を調査 (2006年9月1日)



合併3周年記念ふれあい農業祭。トラクターとの綱引きなどのイベント (2006年8月26・27日)



小麦乾燥調製貯蔵施設が完成 (2007年3月3日)



北見市農業技術センター J A が運営管理

# 20年のあゆみ

## 2008年 [平成20年]

- 2月8日 冬期地区別懇談会 (8～15日まで)
- 4月1日 オホーツク農業共済組合誕生  
(オホーツク中央・遠軽・北見・斜里)
- 4月1日 全道系統4協同会社統合合併 (㈱ホクレン商事)
- 4月2日 JAきたみらい生産者組織連絡協議会発足
- 4月11日 第5回JAきたみらい通常総代会
- 6月27日 加藤組合長厚生連副会長・  
全共連道運営委員会副会長就任
- 6月27日 第3代代表理事組合長に西川孝範氏就任
- 7月1日 新規就農者激励状授与式・激励会 (23人就農)
- 7月15日 夏期地区別懇談会 (15～22日まで)
- 7月19日 第6回JAきたみらい乳牛共進会
- 8月8日 資材高騰に対するオホーツク危機突破総決起集会
- 8月13日 役員作況調査
- 8月21日 資材高騰に対する全道総決起大会
- 9月22日 HBCテレビ「あぐり王国北海道」収録  
(放映日10月11日→タマネギ～訓子府町)
- 10月4日 第2回JAみらいサミット
- 10月5日 合併5周年記念第2回ふれあい農業祭
- 12月2日 役員視察研修

## 2009年 [平成21年]

- 2月12日 冬期地区別懇談会 (12～18日まで)
- 4月16日 第6回JAきたみらい通常総代会
- 4月27日 きたみらい酪農青年部設立総会
- 7月1日 新規就農者激励状授与式・激励会 (21人就農)
- 7月13日 夏期地区別懇談会 (13～16日まで)
- 7月18日 第7回JAきたみらい乳牛共進会
- 8月16日 日米FTA断固阻止オホーツク緊急集会
- 8月20日 第3回JAみらいサミット
- 9月23日 第2回農業体験&見て歩きツアー
- 9月26日 東北6県生協と産直協定
- 10月18日 第3回農業体験&見て歩きツアー
- 10月25日 HBCテレビ「あぐり王国北海道」収録  
(放映日11月14日→白花豆～留辺蘂町、  
ヤーコン～置戸町)
- 11月20日 第26回JA北海道大会
- 12月8日 外郭3組織合同視察研修 (8～10日まで)



全道農業危機突破総決起大会が各地で  
(2008年8月21日)



「あぐり王国北海道」収録に歓声  
(2008年9月22日)



平成20年全道JA広報誌コンクールで  
2年連続の最優秀賞



JA青年部  
「オーストラリア農業」を視察



日米FTA断固阻止オホーツク緊急集会  
(2009年8月16日)



2010年 [平成22年]

- 2月12日 冬期地区別懇談会 (12~17日まで)
- 4月15日 第7回JAきたみらい通常総代会
- 7月1日 新規就農者激励状授与式・激励会 (28人就農)
- 7月8日 監事会視察研修 (8~9日まで)
- 7月12日 「畑楽(はたらく)クラブ」開講式
- 7月13日 夏期地区別懇談会 (13~16日まで)
- 7月30日 HBCテレビ「あぐり王国北海道」真白収録
- 8月7日 JA第1回収穫祭
- 10月8日 第4回JAみらいサミット
- 10月30日 哺育育成センター落成式
- 11月11日 役員道外研修(11~13日まで)
- 12月18日 HBCテレビ「あぐり王国北海道」塩やきそば、グリーンズ北見、玉葱倉庫収録
- H23.1月19日 オホーツクJA監事研修会 (19~20日まで)
- 1月23日 オホーツクJA役員研修



哺育育成センターが落成 (2010年10月30日)



東日本大震災被災地に支援物資届ける (2011年3月26日)

2011年 [平成23年]

- 2月14日 冬期地区別懇談会 (14~18日まで)
- 4月15日 第8回JAきたみらい通常総代会
- 6月7日 役員道外研修 (7~9日まで)
- 6月30日 新規就農者激励状授与式・激励会 (23人就農)
- 7月4日 夏期地区別懇談会 (4~8日まで)
- 7月16日 第8回JAきたみらい乳牛共進会
- 10月30日 第6回農業体験&見て歩きツアー
- 11月1日 TPP交渉参加問題を考えるオホーツク集会
- 12月10日 HBCテレビ「あぐり王国北海道」スノーマーチ収録
- 12月26日 第2回臨時総代会
- H24.1月18日 オホーツクJA監事研修会 (18~19日まで)
- 1月19日 オホーツクJA役員研修会



男女共同参画と組織活動活性化を学ぶ (2011年12月13日~15日)

2012年 [平成24年]

- 2月13日 冬期地区別懇談会 (13~17日まで)
- 2月26日 TPP交渉参加断固阻止！オホーツク総決起集会
- 4月13日 第9回JAきたみらい通常総代会
- 4月17日 馬鈴薯集出荷施設工事修祓式
- 6月29日 新規就農者激励状授与式・激励会 (27人就農)
- 6月30日 夏季地区別懇談会 (30~7月4日まで)
- 7月7日 JA役員イタリア農業視察 (7~14日まで)
- 7月21日 第9回JAきたみらい乳牛共進会
- 10月7日 第7回農業体験&見て歩きツアー
- 10月23日 馬鈴薯集出荷施設落成式
- 11月17日 HBCテレビ「あぐり王国北海道」牛の削蹄収録



TPP交渉参加阻止北海道総決起大会

TPP交渉参加表明に反対する「道民集会」と「北海道総決起大会」が札幌市で開催、JAきたみらいからも役員職員23人が参加。

(2012年4月27日)



2年ぶりの開催「みらいサミット」

(2012年12月6日・7日)

# 2013

平成25年

## 主なできごと

- 2月4日 1市2町へ芋玉贈呈
- 2月12日 冬期地区別懇談会（12～16日）
- 3月8日 高知JA高知市 姉妹提携
- 3月12日 1市2町の小学校に教材本贈呈
- 4月11日 第10回JAきたみらい通常総代会
- 4月19日 全道JA広報コンクール最優秀賞受賞
- 6月23日 10周年記念協賛事業  
サッカーを通して、よい食学ぶ  
（コンサドレー札幌）
- 6月27日 新規就農者激励状授与式・交流研修会（21人就農）
- 7月10日 JAきたみらい10周年フォーラム
- 7月12日 夏期地区別懇談会（12～18日）
- 7月20日 合併10周年記念 酪農祭
- 8月4日 きたみらいKid's 販売体験 in 東京（4～6日）
- 8月5日 小麦まるごと体験ツアー
- 8月13日 役員作況調査
- 9月12日 中ノ島給油所セルフスタンドとして  
リニューアルオープン
- 10月2日 第6回JAみらいサミット
- 10月6日 合併10周年記念 ふれあい農業祭
- 10月20日 第9回端野農業物産フェア
- 11月8日 合併10周年記念式典・組合員感謝の集い
- 11月17日 長いもまつり&収穫感謝祭
- 12月7日 コンプライアンス研修会
- 12月24日 1市2町へ鏡餅贈呈
- 1月23日 端野玉ねぎむき玉選別加工施設完成



1市2町へ芋玉贈呈

置戸町長に目録を贈呈する様子



芋玉と一緒に贈った  
食育パンフレット



全道JA広報誌コンクールで  
最優秀賞受賞を記念して集合写真



オホーツクJA青年部研修大会の主張発表で  
最優秀賞を受賞した林尚哉部員

## 5月31日 JA事務所に花壇設置

JA女性部訓子府支部は、毎年実施している花壇の設置を行った。今年はマリーゴールド、サルビア、ペコニアの花を約180本植え素敵な花壇を完成させた。花壇は訓子府事務所前や給油所、資材店舗前に設置し、事務所などに訪れる組合員や地域住民の目を楽しませてくれた。



花壇に花を植える女性部のみなさん

## 6月23日 10周年記念協賛事業 ～サッカー通して”よい食”学ぶ～

JAグループ北海道とコンサドーレ札幌を運営する北海道フットボールクラブは食育に関する協力協定を結んでいる。その取り組みの一環として、JAでも合併10周年記念の協賛事業として同イベントでの食育活動を行った。



コンサ選手の指導を  
熱心に受ける子どもたち



地場産もち米を使った食育体験

## 7月22日 北見・札幌でTPP抗議のデモ行進

TPP交渉参加に抗議するオホーツク総会決起集会を北見芸術文化ホール前で行い、当JAから組合員・役職員290人が参加した。参加者は、地方で安心して暮らし続けるためにも、交渉からの即時撤退が必要だと訴えた。



北見市でデモ行進する組合員・役職員

# 20年のあゆみ

## 7月10日 JA合併10周年「フォーラム」開催

農業問題にも詳しいジャーナリストの鳥越俊太郎さんがこのほど、JAきたみらい合併10周年記念事業フォーラムで講演した。環太平洋連携協定（TPP）に触れ、「関税がゼロになったら、市場で競っても太刀打ちできず、日本の農業は壊滅に追い込まれる」と危険性を指摘した。

鳥越さんは、道内JAとホクレンが前年秋に設立したバレイショ消費拡大へ情報発信する「じゃがいも問題研究所」所長も務めており、今回「北海道農業の未来」と題して講演した。

「日本の物づくりは、職人によって支えられている。農業に従事する皆さんも職人で、その技術は日本の宝」とたたえた上で、「（その宝が）宿っているのはオホーツク農業や北海道農業だ。この現場から中央に反対のメッセージを発信しよう」と訴えた。



講演を行う「ニュースの職人」鳥越氏



フォーラムに集まった512人の関係者のみなさん

## 7月20日 JA合併10周年「酪農祭」

JAきたみらい乳牛共進会がきたみらい酪農振興協議会と共催で、訓子府町の北見管内畜産総合施設で行われ、96頭の乳牛が体型の美しさや骨格の力強さなど、資質を競い合った。



未経産・経産の部の最高位、準最高位の荣誉に輝いた4頭と関係者のみなさん



## 8月17日～27日 実習通して、農業をアピール ～日大の学生が農業実習～

日本大学の実習生の受け入れが行われ、4人の学生が汗を流しながら、北海道農業の「今」を肌で感じ取った。受け入れ先で訓子府地区の斉藤隆さんは「農業の面白さをアピールする良い機会」と話した。



実習生と受入農家の斉藤さん

## 10月6日 JA合併10周年 「ふれあい農業祭」開催

JAは合併10周年を記念し「ふれあい農業祭」を北見市若松のファミリーランドで開催した。当日は、キャラクターショーをはじめ、地場農畜産物や全国の「JAみらい」や姉妹JAの特産品なども販売し、組合員をはじめとする約1万人の地域住民が来場した。



もちまきの様子

## 11月8日 「JA合併10周年記念式典」、 「組合員感謝の集い」開催 ～10年の歴史を糧に、新たな発展を誓う～

北見市民会館で「記念式典」と「組合員感謝の集い」を開き、組合員、役職員をはじめ関係者多数出席の中盛大に行われた。式典の中では、JAの発展に顕著な「功労者表彰」、1市2町への「車イス寄贈」が行われ、感謝の集いでは「堀内孝雄歌謡ショー」が行われ、会場は大いに盛り上がった。



表彰された功労者のみなさん

## 2014

平成26年

### 主なできごと

2月3日	1市2町へ芋玉贈呈
2月10日	冬期地区別懇談会（10～15日）
3月13日	1市2町の小学校に教材本贈呈
3月25日	生産資材拠点センター落成
4月11日	第11回JAきたみらい通常総代会
6月17日	全道JA広報コンクール 最優秀賞受賞
6月20日	新規就農者激励状授与式・交流研修会（6人就農）
6月28日	役員海外研修（28～7月4日）
7月10日	夏期地区別懇談会（10～16日）
7月19日	第11回JAきたみらい乳牛共進会
8月2日	小麦まるごと体験ツアー
8月12日	役員作況調査
8月30日	第8回きたみらい農業体験&見て歩きツアー
10月15日	第7回JAみらいサミット（15～16日）
10月19日	第10回端野農業物産フェア
11月16日	長いもまつり&収穫感謝祭
12月6日	コンプライアンス研修会
12月25日	1市2町へ鏡餅贈呈



甘みたっぷりイチゴの出荷始まる



置戸町で植え付け体験



きたみらい農業体験&見て歩きツアー

高知県高校生が  
農作業を体験



農家の  
うちのごはん展



JA女性部訓子府支部 収穫感謝祭

## 4月11日 TPPから北海道農業を守り抜く 地域農業振興方策を決議

JAきたみらいの第11回通常総代会が北見市内のホテルで開かれ、2013年度事業報告や15年から19年までの第4次地域農業振興方策、中期経営計画を含む15年度事業など議案10件、報告事項1件を承認。また、日豪EPAの大筋合意の影響を受け、なし崩し的決着が懸念される「TPP等国際貿易交渉から北海道を守り抜く」決議案が満場一致で採択された。

委任状提出者を含め各地区の総代371人が出席。13年度事業報告では、昨春の降雪による植え付け遅れと長期的な干ばつの影響により玉葱、馬鈴薯ほか主要な農産物の収穫量が落ち込んだ影響で、同年の農産物取扱高は373億2870万円と計画を0.8%上回るものの、前年に比べ5億4千万円余り下回る結果となった。当期未処分剰余金は5億6600万円を計上した。



総代会であいさつする西川組合長



質問する女性総代の井上幸恵さん

## 5月12日 TPP交渉断固反対！ ～オホーツク地区街頭啓発行動～

JA北海道中央会北見支所と北見地区農民連盟は、北見、網走、紋別の3市で環太平洋連携協定（TPP）交渉断固反対オホーツク地区街頭啓発行動を一斉に実施した。北見市のJR駅前広場での街頭啓発には関係者約30人が参加し、TPP反対啓発活動のために用意したチラシを通行人に手渡した。



街頭啓発を行う西川組合長

# 20年のあゆみ

8月20日

## 素材を生かす食べ方を学ぶ

JAフレッシュミズ置戸支部は、置戸町中央公民館にて管理栄養士の佐々木十美さん指導のもと料理講習会を行い、10名の会員が参加した。使用した食材のほとんどが、会員が持ち寄った採れたての野菜。豊富な夏野菜を素材に、佐々木さんは保存のきくトマトピューレや干し野菜の作り方を指導。メインディッシュにはトマトピューレを活用し、化学調味料を使用しない夏野菜たっぷりのキーマカレーを作った。料理完成后、会員たちは各班で作ったキーマカレーを食べ比べ、材料と分量が同じでも食材の切り方や鍋に入れるタイミング次第で味が引き立つことも学んだ。



サラダの味見をするフレミズ会員



作り方の指導を受けるフレミズ会員

7月17日

## 玉葱生産者交流会開く 消費地と産地をつなぐ絆

きたみらい玉葱振興会（小野洋一会長）は、JAセンター事務所2階大ホールで平成26年度きたみらい玉葱振興会全体交流会を開催した。生産者や関係者ら197名が出席した。



開会挨拶を行う小野会長



10月19日

## 端野農業物産フェア

～玉ねぎ・馬鈴しょの詰め放題が人気～

JA端野地区事務所と端野町観光物産協会は、第10回端野農業物産フェアを北見市端野町の同事務所前特設会場で開いた。晴天の下、もち米や青果の格安販売、1袋100円の玉ねぎと馬鈴しょの詰め放題に長い列ができた。

詰め放題では用意した玉ねぎ1.2トと馬鈴しょ600キロが約30分で売り切れた。JA女性部端野支部とフレッシュミズ端野支部が作った豚汁や、JA産「きたみらい牛乳」の無料提供も人気を集めた。また地場産馬鈴しょを使った「神戸コロッケ」を試食販売した他、常呂漁協からホタテなど海産物を販売、北見市の姉妹都市・宮城県丸森町から交流委員会メンバー16人も訪れ、らっきょうなど特産品を販売した。



人気を集めた玉ねぎ・馬鈴しょの詰め放題



女性部・フレミズによる豚汁無料配布

12月10日

## JA青年女性三組織 設立10周年を祝う

JA青年部、女性部、フレッシュミズで組織されるJAきたみらい青年女性三組織10周年記念事業実行委員会は、JA大会議室にて10周年記念式典並びに講演会を行い、歴代役員や部会員ら約100名が出席した。



和歌山県中央会 中家徹会長の講演に聞き入る参加者

## 2015

平成27年

### 主なできごと

2月3日	1市2町へ芋玉贈呈
2月9日	冬期地区別懇談会（9～13日）
3月23日	1市2町へ教材本贈呈
4月14日	第12回JAきたみらい通常総代会
7月2日	監事会視察研修（2～3日）
7月3日	新規就農者激励状授与式・交流研修会（14人就農）
7月4日	訓子府給油所 セルフサービス導入
7月14日	夏期地区別懇談会（14～17日）
7月18日	第12回JAきたみらい乳牛共進会
7月23日	役員道内研修（23～24日）
8月1日	小麦まるごと体験ツアー
8月2日	きたみらいKid's 販売体験 in 東京（2～4日）
8月7日	役員作況調査
10月15日	第27回JA全国大会
10月18日	第11回端野農業物産フェア
10月23日	第14回全日本ホルスタイン共進会 北海道大会（23～26日）
11月11日	第28回JA北海道大会
11月12日	役員道内研修
11月15日	長いもまつり&収穫感謝祭
12月3日	第8回JAみらいサミット（3～4日）
12月5日	コンプライアンス研修会
12月24日	1市2町へ鏡餅贈呈



北見市かあさんの朝市会



北見軽トラ市



高知県高校生が来訪



JR北海道北見駅へAED贈呈



鏡餅贈呈

## 4月22日 春まき小麦の播種順調

JA管内各地で、春まき小麦の播種作業が一斉に行われた。今季は降雪量が多く融雪遅れが懸念されたが、春先に好天の日が続き順調に融雪が進みほぼ例年通りの春耕開始となった。

北見市留辺蘂町旭の多田佳継さんは小麦、てん菜、加工用バレイショ、タマネギなど23畝を作付ける畑作と野菜の複合農家。うち春まき小麦「春よ恋」は2.4畝の作付けを予定し、22日から播種作業を始めた。作業幅4桁のパワーハローとグレンドリルの整地・播種複合機で、RTK-GPSガイダンスシステムのトラクター誘導により1畦とばしの一筆書き走行で圃場を往復し播種作業を行う。

多田さんは「今年は土壌のこなれがよく良好な圃場状況で播種作業ができるので、高収量・高品質な春まき小麦を生産したい」と期待を膨らませていた。



RTK-GPSガイダンスにより真っ直ぐ播種される春まき小麦



ガイダンスのモニター

## 7月1日 JA高知市女性部との意見交換会

JA女性部は、姉妹提携しているJA高知市女性部と、JAセンター事務所で昼食を兼ねた懇親会と意見交換会を開催した。昨年からの続いた相互訪問を機に互いの絆が深まり良い刺激となった。



昨年の訪問を振り返り感謝を述べるJA女性部齊藤のリ子部長

# 20年のあゆみ

8月1日

## ふれて・見て・食べて 「小麦まるごと体験ツアー」

北見市は、オホーツク産小麦の食文化を広めると共に、地産地消の機運を高め1次産業の理解を深めてもらうことを目的とした「小麦まるごと体験ツアー」を開催した。このツアーは北見市、(財)オホーツク地域振興機構、網走農業改良普及センター、JAが協力して行っており、今年で3回目の開催となった。

一般募集から集まった市内13組29人の親子が参加。初めにきたみらい麦作振興会の西野繁副会長の圃場で、動くコンバインの見学や乗車体験を行った。



西野副会長の圃場で集合写真



小麦の観察を行う参加者

9月5日

## 北見のおいしさPR ～地産地消フェスタ開催～

地場産農林水産物の消費拡大を目指す北見市地産地消推進委員会は、「地産地消フェスタ2015」を北見芸術文化ホール前で開いた。

今回で6回目となる同フェスタに、市民ら約7,000人が訪れ、直売ブースには、JAなど全27団体が出店し、野菜や加工品などを提供した。



好評の地場産もち米で作った餅まき



### 10月3日 熊本県学校給食から感謝状贈呈 ～訓子府町玉葱振興会減農薬研究会～

熊本市内にて「熊本県学校給食納入共同組合創立50周年記念感謝の夕べ」が開催された。長年にわたり学校給食に青果物を供給している産地に対し感謝状と記念品が贈られ、訓子府町玉葱振興会減農薬研究会（太田睦会長）が授与された。当会は熊本県学校給食納入協同組合に熊本大同青果を通じて、20年以上にわたり特別栽培玉葱を納入している。太田会長は「今後も安心安全な玉葱を食べてもらえるよう責任をもって栽培したい」と語った。



感謝状を受け取る当JA職員※太田会長欠席のため



感謝状が授与された産地と主催者側との記念写真

### 10月23日 全日本ホルスタイン共進会にて 「名誉賞」受賞

5年に一度の乳牛のオリンピック「第14回全日本ホルスタイン共進会北海道大会」が安平町の北海道ホルスタイン共進会場で北海道初開催された。都道府県の代表牛374頭が出品され、その内北見地区の山内誠さん出品牛「DH チャンス メイクET」が未經産牛としてのバランス、資質が高く評価され、最高の賞となる「名誉賞」を受賞した。



「名誉賞」を受賞したチャンスメイク号

# 2016

平成28年

## 主なできごと

2月2日	1市2町へ芋玉贈呈
2月8日	冬期地区別懇談会（8～12日）
3月1日	青森県黒石市と平川市に芋玉を贈る
3月24日	1市2町に教材本贈呈
4月12日	第13回JAきたみらい通常総代会
5月7日	きたみらいホルスタインベビESHOW
6月30日	監事会視察研修（30～7月1日）
7月1日	新規就農者激励状授与式・交流会（14人就農）
7月1日	端野給油所 セルフサービス導入
7月11日	夏期地区別懇談会（11～14日）
7月16日	第13回JAきたみらい乳牛共進会
8月1日	JAみらいサミット間人事交流研修会（1～5日）
8月10日	役員作況調査
8月27日	第9回きたみらい農業体験&見て歩きツアー
10月16日	第12回端野農業物産フェア
11月13日	長いもまつり&収穫感謝祭
11月17日	理事道内視察研修（17～18日）
12月3日	コンプライアンス研修会
12月21日	1市2町へ鏡餅贈呈



第1回きたみらいホルスタインベビESHOW開催



親子で農業体験&見て歩きツアー



園児らが仔牛の哺乳体験



長いもまつり&収穫感謝祭



JHCチーズ作り

## 8月17日～31日 連続した台風通過で大きな爪痕

8月の2週間の間に4つの台風が北海道に接近・上陸し、各地で大きな被害をもたらした。JA管内では激しい雨により、無加川に加え常呂川や訓子府川、それらの支流や用排水路が広範囲で氾濫し、作物流亡や表土流出、土砂流入などの大きな被害が発生。圃場被害のほか、倉庫及び収納機械類やビニールハウスなどの被害も報告された。また、この一連の台風等による被害は道内各地にライフラインを含めて大きな爪痕を残し、激甚災害に指定された。



高橋知事に被害状況を説明する西川組合長



被害を受けた倉庫



冠水したてん菜圃場



河川氾濫の被害を受けた圃場



河川氾濫により破壊された道路

# 20年のあゆみ

## 3月28日 オホーツク管内で ジャガイモシロシストセンチュウを確認

昨年8月に網走市内の2地区の圃場でジャガイモシロシストセンチュウが確認されたことをきっかけに、当JAは生産者組織連絡協議会を開催し、網走管内における発生後の経緯、JA対応等を確認した。



圃場に設置されている看板

## 8月1日～5日 JAみらいサミット間 人事交流研修会を実施

JAは「JAみらいサミット間人事交流研修会」を開催し、JA新潟みらい、JA兵庫みらい、JAふくしま未来から3名が参加した。JAの購買部門、販売部門、営農部門を研修し、情報意見交換などを行った。

同研修会では、JAきたみらいが昨年7月から稼働した営農支援システムを紹介し、組合員ふれあい室からは、営農相談業務に携わる担当職員1人に1台のタブレット端末を配した取組事例のなかで、「新人職員や異動から間もない職員でも一定の情報提供を目指してプロジェクトチームを発足させた」とシステム導入の経緯と稼働状況を説明した。



産地間の栽培動向について話し合う  
生産者とJAふくしま未来の職員



職員間での意見交換



7月1日

## 世界一長い野菜の串焼き ギネス世界記録認定

北見市の学校法人栗原学園が、北見産の玉葱を使った「世界一長い野菜串焼き」でギネス世界記録に挑戦。“56.89メートル”で記録を更新し、ギネス認定を受けた。

ギネス認定種目の「世界一長い野菜串焼き」は北海道内では9例目、道東地区でも小清水町に続く2例目で、北見市では初めて。同学園は昨年、創立60周年を迎え、節目の記念事業とし、構想から実現まで1年半の時間を費やし、かつて世界一の薄荷生産の場だったこの地域を、日本一の生産量の玉葱で新たな世界一を造るため地場産玉葱にこだわって挑戦した。



世界一長い野菜の串焼き

11月14日

## 玉葱の輸出本格化へ ～北見産農作物輸出促進協議会設立～

北見市と当JA、JAところは、北見産玉葱のロシア向け輸出を本格的に取り組むため、北見市、北海道銀行、JA、ホクレン、北見通運を含めた官民一体の組織を発足した。今後は来年からの本格輸出に向けロシア企業を北見市に招待し、玉葱圃場や選果場などを視察するなど人的交流を開始した。

## 農作物輸出促進協議会設立



北見産農作物輸出促進協議会発足

## 2017 平成29年

### 主なできごと

2月2日	1市2町へ芋玉贈呈
2月7日	冬期地区別懇談会（7～10日まで）
4月11日	第14回JAきたみらい通常総代会
6月3日	玉ねぎ集出荷貯蔵施設 着工
6月30日	新規就農者激励授与式・交流研修会（14人就農）
7月1日	相内給油所セルフサービス導入
7月3日	第9回JAみらいサミット（3～4日まで）
7月11日	夏期地区別懇談会（11～14日まで）
7月15日	第14回JAきたみらい乳牛共進会
8月6日	きたみらいKid's販売体験in東京（6～8日まで）
8月9日	役員作況調査
8月26日	第10回きたみらい農業体験&見て歩きツアー
9月4日	選別作業員が統一ユニフォームを着用
9月12日	常呂川災害復旧工事 端野地区現場視察
9月23日	北方四島から訪問団の来北
10月30日	訓子府玉ねぎむき玉選別加工施設完成
12月2日	コンプライアンス研修会
12月21日	1市2町へ鏡餅贈呈

### 4月19日 職員向け ドローン講習会を開催

小型無人航空機ドローンを取り扱っている(株)コハタ営業部から講師を招き、ドローンの取り扱い方など講習会を職員向けに開催した。

JA職員と網走農業改良普及センターの職員47名が参加し、ドローンを飛行させるにあたっての航空法や取り扱い方について説明を受け、実際に体験フライトなどを行った。

JAでは、昨年度より農業の生産現場でドローンを有効活用できないか検討を始め、今年度から各地区事務所に1台配置。作物の異常を空撮によって確認することや災害発生時に被害の状況を把握するなどの災害対応として活用していく。



ドローンの取扱い方を学ぶ参加者



体験フライトの様子

## 6月8日 初めてのスポーツ交流会を開催 ～JA青年部置戸支部・JAフレミズ置戸支部～

JA青年部置戸支部とJAフレッシュミズ置戸支部は、置戸町旧秋田小学校体育館にて初めてのスポーツ交流会を開催し、併せて22名が参加した。

競技は玉入れ、ドッチビー、リレーの3種目で青年部・フレミズ混合の3チームが合計点を競った。



お着替えリレーに参加する青年部員

## 7月10日 園児がじゃがいもの収穫体験 ～JA青年部置戸支部～

JA青年部置戸支部は、部員9名が講師となり、「置戸町こどもセンターどんぐり」の園児32名とじゃがいもの収穫体験を行った。



じゃがいもを収穫する園児たち

## 8月26日 収穫や見学 親子で楽しむ ～農業体験&見て歩きツアー～

農作物の収穫体験や選果施設を見学して農業や食の大切さについて学んでもらうことを目的に「農業体験&見て歩きツアー」を訓子府町で開催した。



収穫を行う参加者

# 20年のあゆみ

## 8月6日 きたみらいKid's 野菜の販売を体験

正組合員のお子さんを対象とした「きたみらいKid's販売体験in東京」を開催し、12人が参加。

この事業は食農教育活動の一環で、農家のお子さんに農業の重要性や食の大切さを伝え、将来の農業の担い手やサポーターになってもらうことを目的に実施。店頭に立った子どもたちは「北海道のおいしい玉ねぎとじゃがいもです!」「私のお父さん、お母さんも玉ねぎとじゃがいもを作っています!」などと恥ずかしながらもお客さんとの会話を楽しみながら、接客を行った。また、大田市場では市場の役割や仕事の内容について説明を受け、段ボールがたくさん積み上げられた場内を一望することができ、良い経験となった。



農作物をPRするKid's



大田市場を見学するKid's

## 10月15日 端野農業物産フェア ～玉ねぎ・馬鈴しょの詰め放題が人気～

JA端野地区事務所と端野町観光物産協会は、第13回端野農業物産フェアを北見市端野町の同事務所前特設会場で開催した。晴天の下、もち米や青果の格安販売や、玉ねぎと馬鈴しょの詰め放題に長い列ができた。



人気を集めた玉ねぎ・馬鈴しょの詰め放題





### 女性部・フレッシュミズ 初めての農作業安全講習会を開催

JA女性部とフレッシュミズは合同で、初めての農作業安全講習会を開催し、部会員ら47人が参加。農作業事故の発生事例について現場の再現写真や映像をもとに、事故防止方法について知識を深めた。



### ソフトボールで交流を深める

JA青年部は6月28日、全青年部員と新人職員を対象に交流を深めることを目的とした「ソフトボール大会」を開催した。



### 選別作業員が統一ユニフォームを着用

JAの玉ねぎ・馬鈴しょ選果施設の全12施設で働く選別作業員約500人に統一したベストと帽子を配布。JAロゴマークをいれるなど一致団結し品質・作業効率アップに取り組むことを狙いに作られた。



### カレーライスマラソン開催

JAなど7団体で構成する、たんのカレーライスマラソン実行委員会主催の「第32回たんのカレーライスマラソン」が9月17日、北見市端野町で開催され、道内外から211チーム約850人が出場した。



### 相内給油所 セルフサービス導入



### フレッシュミズ「運動会」